

## 5章1節5 世界史B「第一次世界大戦の勃発」

授業者：坂田 匡史 通年 2年生全クラス

本質的な問い	サライエヴォ事件は、第一次世界大戦の勃発にどの程度(how far)作用したか。		
達成目標	<b>①</b> なぜ第一次世界大戦が勃発したか、歴史的推移について説明することができる。 <b>②</b> 国際的地位・世論についての概念的理解を深めることができる。		
論点 (深めるために)	本時では「なぜ第一次世界大戦は起こったか」をオーストリアの国際的地位やバルカン戦争をめぐる国際情勢の変化からオーストリアのセルビアへの攻撃を題材に「第3次バルカン戦争ではなく、世界大戦と発展したのはなぜか」(洞察を促す問い)を考察させる。この問いは第一次世界大戦の「蓋然性」を問うものであり、局地的な紛争にとどまらず世界大戦へと発展していったのはなぜかを考えさせる。		
実践の振り返り	<b>①</b> 第一次世界大戦の蓋然性について、歴史的事実を追究する必然性が生まれた。 <b>②</b> 歴史的事象において批判的思考を働かせることができた一方で、知識の活用や表現の難しさを実感した。		
問いの構造化			
	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	②なぜバルカン半島の情勢が、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれるのか。	①第一次世界大戦に至る列強間の国際関係は、どのように変化したか。	
洞察を促す問い	③オーストリアの国際的地位はどのように変化したと捉えられたか。	④第3次バルカン戦争ではなく、世界大戦へと発展したのはなぜか。	
本質的な問い		⑥列強各国の国民は戦争の勃発をどのように捉えたか。	⑤サライエヴォ事件は、第一次世界大戦の勃発にどの程度(how far)作用したか。
生徒の変容 (ICE ループリック)			
	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	・第一次世界大戦の勃発に至る歴史的推移について述べることができた。	・第一次世界大戦の勃発に至る歴史的推移について、バルカン半島をめぐる国際情勢の影響と関連付けることができた。	・第一次世界大戦の勃発について、多面的・多角的に考察して自らの考えを深めることができた。
教科・科目に特有の見方・考え方	・第一次世界大戦の勃発について、同盟国・連合国双方の視点に立つことができた。	・第一次世界大戦の勃発について、史実に即して分析し、自らの考えを作ることができた。	・自らの考えを説明したうえで、他者と議論し、新たな視点を見いだすことができた。
汎用的な能力	・史実に即して、蓋然性を分析・検討することができた。	・史実に即して、蓋然性に関する自らの考えを作ることができた。	・史実に即して、蓋然性の評価を再構築することができた。